



ンピングなどのレクの場となっている。三井野原はスキー場として冬スキー客で賑わっているが大國主命にまつわる伝説の地でもあり横田町南部には稲田姫をまつる神社があるなど多彩な逸話にこと欠かない。

●この付近の産業はというと“そろばん”“仁多牛”などが有名。鉱産物にはクローム鉄鉱、モリブデンがあり山砂鉄の歴史は古く“製鉄文化”として古代

にまでさかのぼる。八岐大蛇の遠呂智（オロチオンともいう）は製鉄民族の長だという説が強くいくつかのカナナ流しの細流はまさに幾10頭の大蛇の動きに似ており、炉（たたら）の夜を徹しての焔は紅蓮の火を吐く怖るしさに似ていたとも云う。三種神器の1つ天叢雲劍が<sup>あめのむすくものつるぎ</sup>大蛇から得た宝刀であったということもうべなるかな。しかし産業はいづれも零細、人口の過剰化もいちじるしい。松本清張の「砂の器」の主人公が罪をおかす動機もこの付近の貧困を背負ったものであった。

●ところで地質であるが、この地域には古生代から第四紀にいたる中国地方を代表する地質が集約されている。ここにもいくつかの地質学的問題が解明されているが未解決のままの問題も多い。

三郡変成岩と非変成古生層との関係、これらを含む超塩基性岩類の成因、後期中生代の火成活動とくに火山活動の問題、新第三系備北層群の位置づけ、かんらん石玄武岩の特徴、第四紀では中国背梁山地と高原の問題や、河川の争奪などなど、どれを取りあげても好個の研究材料を提供してくれるであろう。この地域はまだまだやるべき分野がいっぱい残り残されているところである。

5万分の1 地質図幅の新刊

# 多里 TARI

5万分の1地質図幅  
地域地質研究報告

著者 猪木幸男・坂本亨(地質部)

発行 工業技術院地質調査所

取扱先 地学文献センター (0423) 62-5050

●この図幅地域は鳥取、島根、広島<sup>の</sup>3県にまたがる。“中国脊梁山脈”が図幅地域のどまん中を東西に走っており、吾妻山、比婆山、三国山、道後山などの山なみは「山陰」「山陽」をわけている。風光明媚であること、多くの神話伝説に富んでいることなどから、この付近は国定公園の1つとなっている。これらの山頂にのぼると、晴れた日などには北は大山の彼方に日本海、南ははるか瀬戸内海をへだてて四国の山々が眺望できる。

●神話伝説といえ、船通山は須佐之男命の八岐大蛇退治で有名。比婆山には伊邪那美神をまつる陵墓があったという。かつては参詣人が出雲・備後から参集、祭も盛大で市もたった。当時の旅館、相撲場とおぼしき跡も残っている。今はこの付近の一部が「県民の森」としてハイキングキャ

地質ニュース	第279号	11月号
	定価 ¥ 420	千 50
昭和52年11月1日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林久雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局 政府刊行物仕入部	
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	